

マイクロプラスチックと 食物連鎖の関わり

浜辺や海を漂うマイクロプラスチックはどこから？

レジ袋やペットボトルなどのプラスチック製品が紫外線劣化などで破砕されたものが河川や下水を経て最終的に海に流れている。

食物連鎖との関わりと被害

まず小魚などがマイクロプラスチックを間違えて食べてしまい
その小魚などを大きな魚や鳥が食べ、体内に
マイクロプラスチックが入り、そしてその魚が人間のもとに
行き、人間が食べることになってしまうということ。

マイクロプラスチック ⇄ 小魚 ⇄ 大きな魚や鳥 ⇄ 人間

マイクロプラスチックを減らすために…

- ・買い物の際にマイバックを持参すること
 - ・水筒を持っていきペットボトを減らすこと
 - ・ゴミを増やさないようにする
- それが私達にできることです。



まとめ

マイクロプラスチックは他の生き物にも影響するが、最終的に人間にまで影響してしまうからそれを防ぐために私達人間がこれから自分たちができることを行って環境をきれいにしていき動物や人間も住みやすいようにしていくことで地球を守っていけたらいいと思います。